

2013年12月度の化学繊維生産・在庫の概況（速報）

日本化学繊維協会

【生産動向】

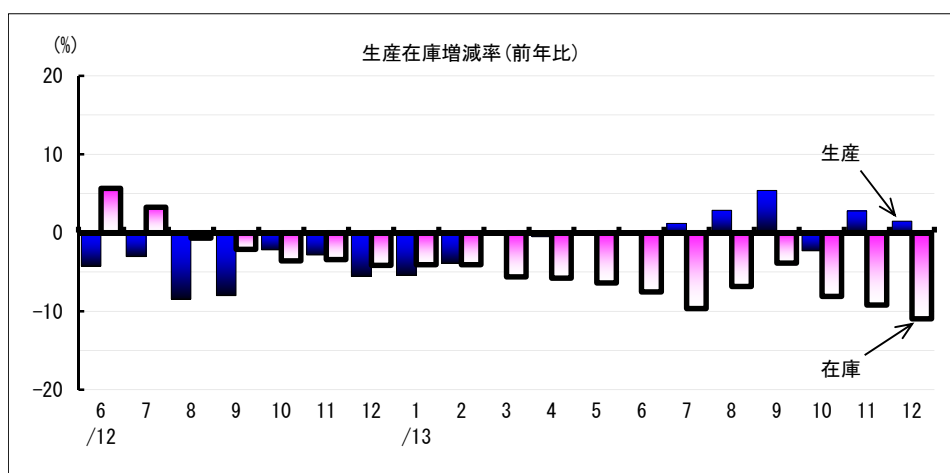
化学繊維生産は 80,597 トン、前年同月比 1.5%増、うち合成繊維生産は 66,532 トン、同 1.8%の増であった。

主要品種では、ナイロンFは前年同月比 5.6%減の 7,571 トン、アクリルSは同 9.5%減の 10,613 トン、ポリエステルFは同 7.7%減の 11,747 トン、ポリエステルSは同 3.6%増の 12,704 トンであった。

【在庫動向】

化学繊維在庫（生産者）は 83,184 トン、前月比 2.9%減、前年同月比 10.9%減、うち合成繊維在庫は 66,871 トン、前月比 3.9%減、前年同月比 15.5%の減であった。

主要品種では、ナイロンF 9,142 トン、前月比 5.4%減、アクリルS 9,287 トン、同 0.9%減、ポリエステルF 12,671 トン、同 0.04%減、ポリエステルS 14,825 トン、同 9.8%の減であった。



以上

ホームページアドレス <http://www.jcfa.gr.jp/>

お問い合わせ先：日本化学繊維協会 大阪事務所 榎本

TEL : 06-6231-6784

表1. 2013年 12月 化学繊維生産・在庫(速報)

[生産高]

	当月 (トン)	前月 (トン)	前月比較		前年同月比 (%)	累計(トン) 1月以降	前年同期比 (%)
			増減(トン)	比率(%)			
セルロース計	14,065	13,923	142	101.0	100.1	166,756	98.8
ナイロンF	7,571	7,353	218	103.0	94.4	95,376	97.2
アクリルS	10,613	11,926	-1,313	89.0	90.5	147,335	105.4
ポリエステルF	11,747	10,912	835	107.7	92.3	151,316	90.6
ポリエステルS	12,704	10,257	2,447	123.9	103.6	142,823	94.3
ポリプロピレンF	6,699	6,772	-73	98.9	106.3	75,749	107.6
ポリプロピレンS	4,641	4,971	-330	93.4	105.9	55,797	110.6
その他	12,557	12,890	-333	97.4	126.2	145,306	108.3
合繊計	66,532	65,081	1,451	102.2	101.8	813,702	100.3
合計	80,597	79,004	1,593	102.0	101.5	980,458	100.0

[在庫高]

	当月 (トン)	前月 (トン)	前月比較		前年同月比 (%)
			増減(トン)	比率(%)	
セルロース計	16,313	16,090	223	101.4	114.7
ナイロンF	9,142	9,660	-518	94.6	89.3
アクリルS	9,287	9,374	-87	99.1	85.2
ポリエステルF	12,671	12,676	-5	99.96	83.7
ポリエステルS	14,825	16,431	-1,606	90.2	66.5
ポリプロピレンF	886	902	-16	98.2	88.2
ポリプロピレンS	5,854	5,904	-50	99.2	113.2
その他	14,206	14,639	-433	97.0	98.4
合繊計	66,871	69,586	-2,715	96.1	84.5
合計	83,184	85,676	-2,492	97.1	89.1

表2. 合繊主要4品種 生産・在庫推移

<生産>

		生産高(トン)	前月比(%)	前年同月比(%)
ナイロンF	2012年12月	8,017	100.1	95.9
	2013年7月	8,798	119.5	102.6
	8月	8,153	92.7	93.0
	9月	8,272	101.5	102.9
	10月	7,279	88.0	99.4
	11月	7,353	101.0	91.8
	12月	7,571	103.0	94.4
アクリルS	2012年12月	11,729	104.4	97.7
	2013年7月	12,255	93.5	120.8
	8月	12,832	104.7	111.3
	9月	12,654	98.6	109.2
	10月	13,133	103.8	100.7
	11月	11,926	90.8	106.1
	12月	10,613	89.0	90.5
ポリエステルF	2012年12月	12,728	101.6	83.5
	2013年7月	12,819	95.1	89.3
	8月	12,688	99.0	94.8
	9月	11,987	94.5	90.2
	10月	11,905	99.3	87.5
	11月	10,912	91.7	87.1
	12月	11,747	107.7	92.3
ポリエステルS	2012年12月	12,265	109.4	92.0
	2013年7月	12,175	94.9	93.9
	8月	12,620	103.7	95.1
	9月	12,996	103.0	102.6
	10月	10,089	77.6	83.0
	11月	10,257	101.7	91.5
	12月	12,704	123.9	103.6

(注)最新月は速報値、その他は確報値

<在庫>

		在庫高(トン)	前月比(%)	前年同月比(%)
ナイロンF	2012年12月	10,238	99.5	113.7
	2013年7月	10,971	103.6	119.8
	8月	11,522	105.0	115.0
	9月	11,405	99.0	112.8
	10月	10,634	93.2	109.5
	11月	9,660	90.8	93.9
	12月	9,142	94.6	89.3
アクリルS	2012年12月	10,895	112.7	103.1
	2013年7月	8,738	86.9	81.7
	8月	9,283	106.2	86.3
	9月	9,189	99.0	87.2
	10月	9,581	104.3	92.5
	11月	9,374	97.8	96.9
	12月	9,287	99.1	85.2
ポリエステルF	2012年12月	15,143	94.0	88.3
	2013年7月	15,067	103.9	86.5
	8月	15,776	104.7	88.6
	9月	14,952	94.8	90.5
	10月	14,644	97.9	86.7
	11月	12,676	86.6	78.7
	12月	12,671	99.96	83.7
ポリエステルS	2012年12月	22,279	94.4	95.8
	2013年7月	19,898	103.8	80.0
	8月	21,936	110.2	83.4
	9月	19,582	89.3	82.6
	10月	17,946	91.6	72.5
	11月	16,431	91.6	69.6
	12月	14,825	90.2	66.5

(注)最新月は速報値、その他は確報値

2013年の化学繊維生産の概況（速報）

日本化学繊維協会

2013年（年間）の化学繊維生産は98.0万トン、前年比横ばい。うち合成繊維は81.4万トン、同0.3%増、セルロース繊維は16.7万トン、同1.2%減であった。

主要品種の生産は、以下のとおり。

ナイロンFは9.5万トン、前年比2.8%減。衣料用途はパンスト向けが盛り上りに欠けたが高密度織物が回復、産業資材用途はエアバッグ向けが好調。

アクリルSは14.7万トン、同5.4%増。衣料用途は保温肌着向けが順調、毛布やカーペットなど建寝装向けは不振、輸出は中国向けフェイクファー用が好調。

ポリエステルFは15.1万トン、同9.4%減。国内衣料用途は全般低調であったが、輸出ビジネスが回復、自動車関連用途はタイヤコード向けが大幅減。

ポリエステルSは14.3万トン、同5.7%減。紡績用途はユニフォーム向けが低調、製綿用途は低位安定、不織布用途は衛材向けが好調。

上記以外では、ポリプロピレンF、ポリプロピレンSともに衛材用が堅調であった。

以上

2013年 化学繊維生産高（速報）

日本化学繊維協会

品 種	2013年 (トン)	2012年 (トン)	前年比較	
			増減(トン)	比率(%)
セルロース計	166,756	168,735	-1,979	98.8
ナイロンF	95,376	98,130	-2,754	97.2
アクリルS	147,335	139,852	7,483	105.4
ポリエステルF	151,316	167,036	-15,720	90.6
ポリエステルS	142,823	151,513	-8,690	94.3
ポリプロピレンF	75,749	70,374	5,375	107.6
ポリプロピレンS	55,797	50,433	5,364	110.6
その他	145,306	134,145	11,161	108.3
合繊計	813,702	811,483	2,219	100.3
合 計	980,458	980,218	240	100.0

(注) 非会員企業のデータについては推定値で集計した。以下同様